

あい AI 学習とは

AI 学習とは、綾部市教育委員会が提唱する『綾部市の「あい」のある学習』を基盤として児童の主体的・対話的で深い学びを創り出す学習のことです。AIの「A」は、**アクティブ・ラーニング**、AIの「I」は、**インタラクティブ・アプローチ**のことです。本校では、児童が主体的・協働的に学ぶことを**アクティブ・ラーニング**と捉え、児童が学習の中で「分かる」、「できる」、「広げる」、「深める」といった学びを自分だけの学びに終わらせず、集団の中で相互に高まりあえる学びにしていくことをAI学習によって創り出します。

アクティブ・ラーニング

アクティブ・ラーニングとは、**課題の発見と解決に向けて児童が主体的・対話的に学ぶ学習**のことです。児童の思考をくすぐり、活性化させる学習です。この学習につなげるために、もう一人の自分を育てる**メタ認知**を育成していきます。

インタラクティブ・アプローチ

インタラクティブとは、双方向という意味です。児童、教師、教材が**インタラクティブ**にかかわりあえる授業が創り出せます。

- I 協働的な学び
- II 安心・信頼の学び
- III 教材研究
- IV 問題との出会い

メタ認知

メタ認知とは、何かを実行している自分の頭の中で働く「**もう一人の自分**」「**認知についての認知**」と言われていています。児童の主体的・対話的で深い学びにつなげます。

綾部市の「あい」のある学習

学習基盤 学習の基本姿勢 質の高い学び

なぜ、今 AI 学習なのか

子どもの実態（学習意欲・表現力の弱さ）
今、求められる学力観（主体的・対話的で深い学び）
わたしたちの願い（一人一人に学力を付けたい）

4つの提起

具体的手法

本校では、主体的・対話的で深い学びのある授業を創っていくために、具体的な4つの手法を大切にしています。

- ① 1時間の授業構想を考える **授業づくりシート**
- ② 児童に身に付けさせたい力を明確にする **単元構想**
- ③ 導入から「めあて」までの **授業展開**
- ④ 児童と教師で教材の価値を共有する **感動算数**

授業の中で具現化(児童の姿で)

「学びあい」の授業展開で大切にする8つの学習活動